

令和元年度第3回市民活動センター評価委員会 摘録

日 時：令和元年7月3日（水）13：00～14：40

場 所：中京いきいき市民活動センター 会議室4

出席者：

（委員，敬称略）吉田 忠彦（近畿大学教授）＜委員長＞
中井 歩（京都産業大学教授）＜副委員長＞
伊豆田千加（特定非営利活動法人子育ては親育て・みのりのもり劇場理事長）
重野亜久里（特定非営利活動法人多文化共生センターきょうと代表）
鈴木 ちよ（市民公募委員）
※ 土江田委員は欠席

（事務局）京都市文化市民局地域自治推進室

地域自治推進室長 猪田 和宏
市民活動支援課長 川瀬 清一郎
担当係長 坂口 景章
担当 岩雲 千夏

傍聴者：4名

取材者：なし

議 題：平成30年度いきいき市民活動センター評価報告案の検討について

開催概要

1 開 会

2 議 事

（1）平成30年度京都市いきいき市民活動センター評価報告案の検討について

いきいき市民活動センターの評価報告案（11センター分）について事務局から提案し、各評価案の内容に対し、評価委員から意見を頂いた。

<北いきいき市民活動センター>

（委員）

評価案中、貸館事業における公金収納業務に不備があったとの記載があるが、これはどういうことか。

（事務局）

貸館受付時の料金収入事務に当たって、書類の記載誤りや誤振込などがあったため、何度か指摘したものである。

（委員）

前回の委員会時に、吉田委員長が今後の楽只小学校跡地への移転について言及されていたが、移転を見据えた新たな事業の展開を期待するなどの助言等ができないか。

(委員)

移転するかどうかは、未定なのか。

(事務局)

移転すること自体は確定しており、現在、調整や準備を進めているところである。

(委員)

センターの更なる活性化のためにも、移転後に同じ建物に入居する団体とのつながりをつくり始めてもらいたい。

(委員)

楽只小学校跡地には、いきセンのほかにもどのような施設が入居するのか。

(事務局)

周辺にあるツラッティ千本、保育所、HAPS、児童館、天才アート等である。

(委員)

「いきセンだより」が非常に良い。回覧板等を活用し、地域の方々により周知ができればいいと思う。ホームページからもダウンロードが可能であり、SNSでの発信はもちろんだが、アナログな媒体も重要である。

<岡崎いきいき市民活動センター>

(委員)

立地は好条件だが施設規模が小さいという状況の中、非常に多彩な事業を展開されている。利用件数は、横這いというより若干減少しているように見受けられる。

(事務局)

他センターの多くが増加しているため、減少しているセンターが目立ってしまう。

(委員)

もともと施設規模が小さいことから、ある一定以上の利用件数の増加は見込めない。それよりも外に向けた事業にも期待したい。

(委員)

センターが主体となる事業ではなく、市民に活動の場を提供し連携していくという手法がうまい。

(委員)

「センター生まれ変わり大作戦」事業を評価したい。老朽化した施設を単に修繕するのではなく利用者と協働してアーティスティックにリフォームするという発想は、他センターにおいてもリニューアルをする際の参考となる。壁を塗り替えた後は、それ自体が広報の役割も果たしている。

(委員)

では、「センター生まれ変わり大作戦」事業についての評価の記載を検討してもらいたい。

<左京東部いきいき市民活動センター>

(委員)

平成30年度については、演劇以外の分野においても、多文化共生など多彩な事業を展開されているように感じる。

(委員)

報告会においても、今後、地域に在住する外国人に向けたアプローチをしていきたいという発言があった。

(委員)

多文化共生事業に、地域に在住する多様な住民も巻き込んで、更に一步踏み込んだ地域との連携事業にしてもらいたい。

(委員)

施設規模としてもまだまだ余裕はある。

(事務局)

新たな事業の展開ということか、又は現在実施している事業を更に発展させるということか。

(委員)

指定管理者次第ではあるが、地域に在住する多様な方々を事業に巻き込んでもらうことを期待したい。

(委員)

盆踊りのチラシのデザインが良い。

(委員)

多文化共生事業の活動主体を育成し、周辺地域を巻き込んで交流を図るということは、大学があり留学生もいるという地域の特性がいかされている。市の施策にも良い影響となり、事業のモデルケースともなれる。

<左京西部いきいき市民活動センター>

(委員)

これまで、左京東部いきセンと似通った事業が多かったが、平成30年度についてはセンター長も変わり、それぞれ違った事業を展開されている。

(委員)

広報誌「わたしの盆踊り」がとても良い取組だと思っていた。それについての評価がきちんと盛り込まれている。

<中京いきいき市民活動センター>

(委員)

センターまでのアクセスの良さを考えると、もう少し利用件数が伸びてほしい。これについての評価も記載してもらっているが、指定管理者も変わったことで、令和元年度については新たな展開に期待したい。

また、高齢者向けの事業のほかにも、若者に向けた活性化事業を展開するなど、事業の分野や対象となる年齢層に新機軸を打ち出してもらいたい。

(委員)

そのためには広報媒体の強化を図られるべき。ホームページについて、字が多く、事業実施後の写真を掲載しているのみで利用者に向けた仕様となっていない。他センターを参考に工夫をしてもらいたい。

<東山いきいき市民活動センター>

(委員)

東山は利用件数も圧倒的に多く、メディア関連事業に強いという特性がある。

(委員)

メディア関連事業について、助言として「一定数の参加者が見込める魅力的な事業を企画」とあるが、現在の事業への参加者が少ないという印象なのか。

(事務局)

メディア関連事業として、現在の事業のほかに、新たに企画されることを期待して記載したものである。

(委員)

では、「新たな企画」という趣旨を盛り込んだ方が良いと思う。

<下京いきいき市民活動センター>

(委員)

活性化事業の評価として、市立芸術大学との協働が記載されているが、報告会の摘録中では現在の連携はないように見受けられる。実際はどうだったのか。

(委員)

具体的な協働での活動はしていないが、活動場所の提供などは行っていたと聞いている。

(委員)

協働での活動がないのであれば、記載の内容の検討が必要。事業報告ともずれがないように。

(委員)

崇仁新町で市立芸術大学に出展してもらうなど、協力してもらっていることはある。表現を変えて記載することとする。

駅からの動線の良さに対して、利用件数が少し寂しいような印象を受ける。

<吉祥院いきいき市民活動センター>

(委員)

いきいき市民活動センターとしての供用開始初年度から比較して、利用件数が全センターで2番目に伸びている。

(委員)

センターがあるエリアからしても、運営努力がうかがえ、子どもの利用もあり利用者層の若返りも見られる。

(委員)

助言の中で、事業の企画段階から「学生等の若者」を実行委員会の主要メンバーとすることとあるが、学生を例にした理由は。

(事務局)

事業を実行委員会形式で実施し、その担い手の育成に取り組んでいるという事業報告を踏まえ、今後、学生をはじめとする若者を巻き込んで展開してもらいたいという趣旨で記載した。

(委員)

では、学生に特化するのではなく、「若者世代」や「次世代」といったより広義の表現に訂正しては。

(委員)

PTAなどの地元ともうまく連携しており、地域を自動的に巻き込むような地域型の運営となっている。

<上鳥羽北部いきいき市民活動センター>

(委員)

利用件数について、供用開始初年度から78.2%の伸び率というのは評価できる。南区にある4つのセンターとの横のつながりについても評価を記載しており、交通の便が良くないにもかかわらず努力されていると思う。

<上鳥羽南部いきいき市民活動センター>

(委員)

報告会において、人材育成に苦勞されている印象を受けたが、これについて何か助言を記載できないか。

(委員)

他センターの人材育成に関する取組を参考にし、協力を求めるなどされてはどうか。

(委員)

過去には市民活動総合センターにおいて研修等が実施されていたように思うが、今はないのか。

(委員)

各いきセンのコーディネートを市民活動総合センターが担うとか、インターン制度を導入するといったようなことはできないか。スタッフが溢れているところと不足しているところとのミスマッチを解消できないか。

(委員)

調整役がいなければいきセン間のスタッフ交流やインターン制度の導入は難しい。

(委員)

いきセン間の人事交流が図られたら良いと思う。

<久世いきいき市民活動センター>

(委員)

「むすぶネット」に登録したことで、大学と連携して活動ができたことは新しい取組として評価できる。

(委員)

車通りが少ないという特性をいかして、センター前のスペースは活用できないか。

(委員)

近くにふれあいセンターもあり、利用が競合している状態。どこが所管する施設なのか。

(事務局)

ふれあいセンターは、本市の文化芸術企画課が所管する施設である。

(委員)

施設機能が良いものの、交通の便が悪く行きづらい。

(事務局)

向日市の住民の利用もあると聞いている。

<その他>

(委員)

北いきセンの楽只小学校跡地への移転に関しては、都度情報提供をお願いしたい。

以上